

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実 績										目標値	目標 年度	指標の説明		
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度				2019年度	
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率（％）										汚水処理人口普及率（％）	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100	
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	83.3%	84.8%	86.0%	86.9%	87.2%	88.0%	89.2%	89.8%	90.4%	90.7%	91.2%				
	汚水処理全体の内訳	下水道の整備	下水道普及率(%)										下水道普及率(%)	92.6%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
		・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	69.4%	70.9%	72.4%	73.5%	74.3%	75.3%	76.7%	77.4%	78.1%	78.5%	79.5%			
		高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)										高度処理人口普及率(%)	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
		・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	69.4%	70.9%	72.4%	73.2%	74.0%	75.3%	76.7%	77.4%	78.1%	78.8%	79.5%			
		農業集落排水施設の保全、管理	農業集落排水処理人口普及率（％）										農業集落排水処理人口普及率（％）	3.1%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
		・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	3.4%	3.4%	3.1%	3.9%	3.9%	3.3%	2.9%	2.9%	2.8%	2.9%	2.7%			
		合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率（％）										合併処理浄化槽処理人口普及率（％）	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	10.4%	10.4%	10.1%	9.9%	9.3%	9.2%	9.3%	9.3%	9.2%	9.2%	8.7%			
		コミュニティプラントの整備	合併処理浄化槽の基数割合(%)										合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	2030	
			24.0%	26.7%	28.2%	29.7%	31.3%	33.1%	34.3%	35.9%	37.2%	37.8%	38.8%			
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率（％）										コミュニティプラント処理人口普及率（％）	0.11%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100	
	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.14%	0.14%	0.12%	0.12%					
	干潟・浅場造成事業	干潟・浅場造成面積（ha）										干潟・浅場造成面積（ha）	471ha	2014 ～2038	干潟・浅場を造成した面積	
	・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	4.7ha	8ha	3.1ha	2.0ha	2.6ha	3.8ha	6.8ha	17.8ha	17.4ha	12.8ha	3.6ha				
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率（％）										河川(BOD)の環境基準達成率（％）	100%	毎年	・河川BOD(西三河地域のみ)の環境基準達成率 ・海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率	
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	96%	92%	96%	96%	91.6%	100%	96%	95.8%	95.8%	95.8%	95.8%				
		海域(COD)の環境基準達成率（％）										海域(COD)の環境基準達成率（％）	100%	毎年		
	67%	33.3%	67%	67%	66.6%	66.6%	67%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%				
水生生物調査	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数		
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	82箇所	68箇所	53箇所	68箇所	64箇所	52箇所	65箇所	90箇所	80箇所	47箇所	87箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年			
2,906人	2,508人	2,174人	2,882人	2,311人	1,982人	1,354人	1,863人	494人	257人	1,479人	1,479人					
流域モニタリング一斉調査	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数		
・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	131箇所	176箇所	139箇所	152箇所	70箇所	82箇所	106箇所	87箇所	80箇所	47箇所	83箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年			
422人	667人	452人	362人	352人	151人	443人	555人	494人	257人	257人	257人					
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	施策実施状況(件)										施策実施状況(個)	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況		
・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	188件	192件	200件	201件	205件	215件	217件	218件	219件	219件	—					
三河湾環境再生プロジェクト	サポーター数(人)										サポーター数(人)	継続実施	継続実施	サポーター数		
県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。							375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人					
河川・海岸の清掃	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数		
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	141回	186回	198回	619回	528回	472回	521回	488回	523回	526回	205回					
	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年			
	152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	287箇所	233箇所	207箇所	220箇所	206箇所	231箇所	174箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年			
25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	59,501人	55,451人	52,486人	69,072人	62,239人	63,795人	37,064人	37,064人					

めざす姿	指標とする取組	実 績											目標値	目標年度	指標の説明
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度			
豊かな水	森林整備の促進 ・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	間伐面積 (ha)											4,000ha (県域)	2016 ～2020	間伐を実施した面積
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む) ・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	雨水貯留施設の設置数											継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	透水性舗装の推進 ・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	雨水貯留浸透施設設置補助件数											継続 実施	単年	・構成員が施工した透水性舗装の面積
	ため池の保全 ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	整備箇所数											継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
		整備箇所数											継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
		整備箇所数											継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
多様な生態系	多自然川づくり ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km)											継続 実施	単年	県内全域での実績
	干潟・浅場造成事業(再掲「きれいな水」) ・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	干潟・浅場造成面積 (ha)											-	-	干潟・浅場を造成した面積
	ため池の保全(再掲「豊かな水」) ・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	整備箇所数											継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」) ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)											前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		実施箇所数											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
	水生生物調査(再掲「きれいな水」) ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数											前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」) ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km)											継続 実施	単年	県内全域での実績
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」) ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)											前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
		実施箇所数											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	
		延べ参加人数(人)											前年増	単年	

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績												
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
矢作川等流域	森づくり	水源地域の森林整備 ・（公財）矢作川水源基金の水源地対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備に要する費用の助成を行う。 おと川リバーヘッド大作戦【2019終了】 ・森林の除間伐、枝打ち、植樹等を行う。	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町、清水資源館 (水質改善課、県水資源課)	322.2ha	245.2ha	283.7ha	263.4ha	239.8ha	182.0ha	166.7ha	220.0ha	249.3ha	75.3ha	150.8ha		
			間伐面積 (ha)											間伐面積 (ha)		
		○間伐等の維持管理不足が山地崩壊、洪水発生の原因のひとつと考えられる。 ○手入れ不足の人工林の増加が生物多様性等にも影響を与えている。 ○ダムや堰などが多く設置され、連続性の分断や河床の急激な変化による生物の生息環境に変化をもたらしている。 ○沿岸域の色干濁は三河湾の浄化のため、将来にわたって保全が必要である。	岡崎市	128人	18人	43人	36人	43人	50人	121人	93人	96人	80人	97人		
			参加人数 (人)											参加人数 (人)		
		新・豊田市100年の森づくり構想 ・平成19年3月に「豊田市森づくり条例」を制定。 平成30年3月、100年先を見据えた森づくりの方向性を示した「新・豊田市100年の森づくり構想」を策定した。	豊田市	1,477ha	1,404ha	1,382ha	1,112ha	1,138ha	1,056ha	913ha	1,132ha	1,099ha	1,069ha	900ha		
			間伐面積 (ha)											間伐面積 (ha)		
		自然環境基礎調査の実施 ・気候・気象、里山、植物、菌類、動物など自然環境に関する基礎的な調査を行う。	豊田市	調査実施の有否											調査実施の有否	
			有											有	否	否
		額田木の駅プロジェクトの実施 ・岡崎市の森林で間伐した木材を額田木の駅プロジェクト実行委員会事務局が回収し、木材を地域通貨と交換する。 ・地域通貨は実行委員会で承認された商店などで使用する。	岡崎市	出荷量											出荷量	
			1,303t											924t	1,001t	1,000t
	郷づくり	湿地・里山の保全 ・荒廃して失われつつある湿地を、市民団体の協力を得て保全整備する。	岡崎市	24日	24日	21日	21日	21日	24日	24日	23日	26日	26日	21日		
			保全活動回数 (日)											保全活動回数 (日)		
		湿地・里山の保全 ・希少な動植物が自生する湿地を保全する。	豊田市	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所		
			保全箇所数											保全箇所数		
		農業水利施設の環境整備 ・生態系、景観に配慮した農業用の水路、ため池などの農業用水利施設の整備を行う。	西三河農林水産事務所	1箇所	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	4箇所		
			整備箇所数											整備箇所数		
		水とみどりの森の駅事業 ・守り育てるべき「自然環境」と守り育てるための「地域活動」があり、市民が自然を学び、体験できる機会が提供され、交流が生まれる所を「森の駅」と位置づけ、森の駅(5箇所)、森の駅育成地区(4箇所)を指定し、各駅で環境保全活動、自然観察会等を開催する。	岡崎市	1,356人	1,987人	2,541人	6,481人	6,735人	6,180人	6,954人	51,953人	54,255人	46,787人	43,628人		
			参加人数 (人)											参加者数 (人)		
		生態系にやさしい水田の設置 ○水に入って泳ぎたくなる良好な深渡・水辺環境<中流> ○水に入って遊びたくなる良好な水辺環境<下流> ○濁りや色が臭いにならない ○水辺に近づける場所がたくさんある ○干潟> ○アザリやウミナシなど生物が豊かな干潟	あいち豊田農業協同組合	12箇所	30箇所	33筆	-	11.98ha	12.26ha							
設置箇所数・面積											面積					
まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、進集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	岡崎市	対策箇所数											-		
		-											-			
		-											-			
		スクリュー数(箇所)											-			
		9箇所(累計)	9箇所(累計)	12箇所(累計)	24箇所(累計)	59箇所(累計)	-	-	-	-	-	-				
	調整池整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量 (m³)											整備容量 (m³)		
		-	1,874㎡	2,013㎡	8,624㎡	4,168㎡	-	-	-	-	-	-	-			
		水田貯留施設の整備 ・農地を保全し、過去に浸水被害のあった市街地の上流で水田貯留施設を整備する。	安城市	整備箇所											整備箇所	
			1箇所	1箇所	-	2箇所	-	-	13箇所	34箇所						
		乙川リバーフロント地区整備 ・乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かした観光産業都市の創造するため、人道橋、プロムナード、園路整備などを行う。	岡崎市	園路の整備延長(m)											園路の整備延長(m)	
-	1,272m	1,140m	990m	630m	1,050m											

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績										
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
矢作川等流域	川・里海づくり	干潟・浅場の造成 ・漁場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟浅場を造成する。	県水産課	干潟・浅場造成面積(ha)										干潟・浅場造成面積(ha)
		4.7ha	4.2ha	3.1ha	1.5ha	2.6ha	3.8ha	6.4ha	4.8ha	4.6ha	5.3ha	3.6ha		
		矢作川水辺ブラザ整備事業【2018終了】 ・岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園を一体に整備し、国が堤防の拡幅と低水護岸整備等を行う。	岡崎市	整備箇所数										整備箇所数
		1.67ha(累積)	1.67ha(累積)	1.67ha(累積)	1.67ha(累積)	1.93ha(累積)	2.1ha(累積)	3.4ha(累積)	1箇所 3.76ha(累計)	1箇所 3.88ha(累計)	1箇所	－ (平成30年度で終了)		
		緩傾斜堤防の整備 ・堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。	西三河建設事務所	整備延長(m)										整備延長(m)
		850m	36m	35m	45.5m	388.7m	260m	259m	784.4m	－	329.9m	134m		
		矢作川沿岸の水質保全 ・開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのパトロールを実施する。	矢作川沿岸水質保全 対策協議会	パトロール回数										パトロール回数
		131回	131回	131回	148回	145回	156回	149回	158回	153回	154回	143回		
		石川・光明寺川の保金活動	幸田町	実施回数(回)										実施回数(回)
		4回		17回	27回	27回	27回	27回	27回	2回	2回	－	4回	
		実施箇所数										実施箇所数		
		2箇所		13箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	22箇所	2箇所	2箇所	－	14箇所	
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		
		376人	1,924人	7,688人	7,789人	7,781人	8,207人	7,782人	－	－	－	－		
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市町、豊橋河川事務所、県水大気環境課 (※報告機関：豊橋河川事務所、県水大気環境課)	実施箇所数										実施箇所数
		50箇所	46箇所	43箇所	43箇所	36箇所	36箇所	50箇所	70箇所	65箇所	41箇所	3箇所		
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		
		1,943人	1,679人	1,834人	1,963人	1,400人	1,434人	857人	1,129人	185人	85人	6人		
		干潟観察会の実施 ・干潟は豊かな生態系を育むとともに、海域の水質浄化にも大きな働きをもっていることから、このような干潟の機能を学習し、干潟の保全活動につなげる。	西尾市	実施回数(回)										実施回数(回)
		1回	1回	1回	2回	3回	3回	3回	3回	2回	－	2回		
		参加者数(人)										参加者数(人)		
		141人	208人	17人	99人	158人	126人	126人	126人	78人	－	46人		
		「水のかんきょう楽校」(水源かん養林事業) ・明治用水土地改良区は、百年近く前から先人達が掲げた「水をつかうものは水をつくれ」を合い言葉に、長野県根羽村ほかで「水源の森」約525haを守り続けている。 ・この取組の一環として、小中学生を中心とした「水のかんきょう楽校」を開校し、水の大切さ・水源の森の役割「水循環」などを地球的な規模として考え、学ぶ機会を提供する。	明治用水土地改良区	啓発事業開催回数										啓発事業開催回数
		31回	29回	38回	18回	18回	26回	39回	26回	－	－	9回		
		啓発事業参加者人数(人)										啓発事業参加者人数(人)		
		6,094人	6,276人	3,911人	1,201人	1,302人	1,309人	2,569人	－	－	－	－		
連携団体数(団体)										連携団体数(団体)				
14団体	21団体	21団体	21団体	21団体	26団体	37団体								
乙川サミットの開催【2018終了】 ・乙川に関係する団体(学校、連協、美しくする会、岡崎市、愛知県、国など)が一室に集って、各団体の活動や事業を紹介し、お互いの活動に対して理解を深めるため、定期的に開催する。	岡崎市	参加団体数(団体)										参加者数(人)		
・討論 4団体 ・参加団体 不明	18団体	18団体	15人	204人	22人(7団体)	36人(11団体)	19人	10人	－	(H30から未実施)				
船遊び(乙川観光船事業)【2019終了】 ・観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結ぶエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数(人)										参加者数(人)		
3,894人	3,043人	2,467人	1,431人	1,728人	1,989人	2,098人	－	－	－	(民間事業移行のため削除)				
船遊び(乙川観光船事業) ・乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(QURUWA戦略)に基づき、乙川河川敷において、観光船運航やキャンプ事業など様々な民間事業を実施することで、当該地区で「常に何か面白いことが起きている」という市民及び来訪者の感覚を醸成し、河川空間の日常的な利用を促進させる。	民間実行委員会 (岡崎市)	利用者数(人)										利用者数(人)		
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
三河湾クルーズ「海の生き物調査隊」の実施【2019終了】 ・三河湾の現状を体感することで環境意識を高め、海の生き物観察や海のごみなどについての環境学習を実施する。	西尾市	参加者数(人)										参加者数(人)		
								94人	90人	－	－			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績										
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
境川等流域 【課題】 ○上流3市1町(大府市、豊明市、みよし市、東郷町)は生活排水対策重点地域に指定されており、生活排水対策の推進が必要となっている。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。 【目標】 ☆多様な動植物が見られる河川環境 ☆保水・かん養と生物の住処をもちあわせたため池の回復 ＜上流＞ ○水の量がたくさん見える。 ○水に入って遊びたくなる水辺 ○濁りや色が気にならない。 ＜中・下流＞ ○ヨシなど河川の植物が多く、在来種が多い。 ○眺めたり散歩したい水辺 ○濁りや色が気にならない。	森づくり	水質調査林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha)										
	細づくり	湿地・湿原の保全 ・除草や竹の伐採をすることにより、カキツバタ群落の保護保全・増殖を図る。 ため池の保全 ・「蛸鈴の会」が、ため池付近の清掃、ビオトープ整備、緑化活動等を実施する。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。	刈谷市	除草作業実施回数 (回)						除草作業実施回数 (回)				
				実施内容										
		ビオトープづくり	ビオトープづくり	-	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃	新池とその周辺の清掃						
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	刈谷市	ろ過スクリーンの設置数										
				遮高改善数										
				7箇所(累計)						7箇所(累計)				
				実施内容						実施内容				
				-	-	-	貯留施設: 17,619m3 ・透水性舗装: 49,783m2 ・浸透トレンチ: 1,320m ・浸透井: 142個	○豊田市: 1箇所 (課本地) ○豊河川課: ・貯留施設: 27,429m3 ・透水性舗装: 83,806m2 ・浸透トレンチ: 409m ・浸透井: 85個 ・浸透井: 171個	・貯留施設: 29,197m3 ・透水性舗装: 83,806m2 ・浸透トレンチ: 180m ・浸透井: 85個	・貯留施設: 42,210m3 ・透水性舗装: 68,656m2 ・浸透トレンチ: 712m ・浸透井: 83個	・貯留施設: 31,467m3 ・透水性舗装: 68,656m2 ・浸透トレンチ: 712m ・浸透井: 83個	・貯留施設: 34,439m3 ・透水性舗装: 33,116m2 ・浸透トレンチ: 330m ・浸透井: 1個	・貯留施設: 45,621m3 ・透水性舗装: 65,977m2 ・浸透トレンチ: 70m ・浸透井: 1個	・貯留施設: 77,752m3 ・透水性舗装: 68,515m2 ・浸透トレンチ: 449m ・浸透井: 62個
		調整池整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量 (m3)										
	川・里海づくり	明徳寺川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	東浦町	実施回数 (回)						17回	17回		14回	11回
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流城市町、県水大環境課 (※報告機関: 県水大環境課)	実施箇所数						14箇所	16箇所	6箇所	3箇所	9箇所
				18箇所	17箇所	14箇所	17箇所	21箇所	11箇所	14箇所	16箇所	6箇所	3箇所	9箇所
	油ヶ淵等 【課題】 ○流域の汚染負荷量の約7割は生活系であり、生活排水対策を進める必要がある。 ○油ヶ淵の流入河川は自流水が少なく、非灌漑期には河川湖沼での汚濁が見られることから、地下水のかん養機能の回復も必要である。 ○油ヶ淵の流入河川は自流水が少なく、非灌漑期には河川湖沼での汚濁が見られることから、地下水のかん養機能の回復も必要である。	細づくり	環境保全型農業推進事業 ・環境安全推進マニュアルを始めたGAP手法の導入を推進する。 ・持続性の高い農業に取り組むエコファーマーの育成を推進する。	県農業経営課	環境安全推進マニュアル導入(産地数)						GAP認証取得件数			
				20産地	24産地	25産地	27産地	28産地	31産地	28産地	150産地	22産地	10件	-
				エコファーマー認定数(人)						エコファーマー認定数(人)				
				721人	719人	711人	707人	642人	634人	627人	3,525人	559人	601人	1448人
まちづくり		調整池整備 ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。	安城市	整備容量 (m3)						402m3	5,064m3	3,000m3	5,124m3	0m3
		生活排水対策モデル地区事業 ・毎年、油ヶ淵流域の1町内会を生活排水対策モデル地区に指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化啓発用品を配布し、実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 ・アンケート調査を実施し、実践活動の効果を確認する。	安城市	学習会参加人数(人)						20人	-	終了	終了	終了
		アクション油ヶ淵(油ヶ淵水質浄化イベントの実施) ・油ヶ淵の水質浄化の取組発表や講演などを行い、地域住民の方々の水質浄化への意識の高揚を図る。	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大環境課 (※報告機関: 県水大環境課)	参加人数(人)						約300人	約300人	約130人	230人	650人
		水田貯留施設の整備 ・農地を保全し、過去に浸水被害のあった市街地の上流で水田貯留施設を整備する。	安城市	整備箇所						-	-	-	-	-
				約400人	約400人	約400人	約350人	約300人	約300人	約130人	230人	840人	240人	650人
				整備箇所						-	-	-	-	-

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績											
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
油ヶ淵等	川・里海づくり	油ヶ淵の浄化対策	安城市、知立建設事務所	浄化施設の予定総容量（知立建設事務所、安城市）										浄化施設の予定総容量(m)	
		－		4㎡	4㎡	4㎡	2㎡	8㎡	208㎡	209㎡	196㎡	191㎡	144㎡		
		覆砂面積 (ha)（知立建設事務所）										覆砂面積 (ha)			
		8.6ha		0.8ha	1.3ha	1.2ha	－	－	－	－	－	－	－		
		植生浄化 (㎡)（知立建設事務所）										植生浄化 (㎡)			
		120m	－	－	－	264m	559m	425m	924m	417m	－	65m			
		整備状況										整備状況			
		油ヶ淵水辺公園整備	知立建設事務所	公園実施設計 緑地整備計画 地質調査 希少種保全調査	公園実施設計	公園実施設計	一部造成工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	
		天然湖沼で、広々とした水面を持つ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備。		公園実施設計	公園実施設計	一部造成工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	一部、工事着手	工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中	平成30年4月29日一部開園 引き続き工事中		
		港湾環境整備事業	衣浦港務所	整備面積 (ha)										整備面積 (ha)	
		緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。		－	－	－	－	－	－	造成土工1式 排水・給水工1式	多目的広場整備1式 防波堤1式	－	－	－	
		油ヶ淵浄化デー（油ヶ淵周辺の清掃活動）	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大気環境課 （※報告機関：県水大気環境課）	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	
		毎年7月第4日曜日に流域4市（碧南市、安城市、西尾市、高浜市）と流域住民が清掃活動を行う。		3,380人	3,350人	3,050人	4,032人	4,378人	4,494人	4,578人	4,231人	4,103人	4,239人	4,087人	
				ごみの量(kg)										ごみの量(kg)	
				2,040kg	1,300kg	3,740kg	5,860kg	4,100kg	2,070kg	1,730kg	1,050kg	1,110kg	1,020kg	1,170kg	
		水生生物調査	流域市町、県水大気環境課 （※報告機関：県水大気環境課）	実施箇所数										実施箇所数	
		身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		6箇所	1箇所	6箇所	4箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所
				延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	
				119人	29人	250人	273人	24人	23人	28人	158人	115人	14人	22人	
		油ヶ淵清流ルネッサンスⅡ（油ヶ淵流域水環境モニタリング）	碧南市、安城市、西尾市、高浜市、県水大気環境課 （※報告機関：県水大気環境課）	湖内COD(mg/L)										湖内COD(mg/L)	
				平均 5.9 mg/L	平均 6.6 mg/L	平均 6.8 mg/L	平均 6.8 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均 6.5 mg/L	平均 6.9 mg/L	平均6.7mg/L	平均6.5mg/L	平均6.6mg/L	
				湖内底層DO(mg/L)										湖内底層DO(mg/L)	
				平均 6.5mg/L	平均 5.3 mg/L	平均 5.5 mg/L	平均 9.0 mg/L	平均 4.9 mg/L	平均 5.2 mg/L	平均 6.1 mg/L	平均 6.0mg/L	平均4.1mg/L	平均6.1mg/L	平均7.5mg/L	
				湖内透明度(cm)										湖内透明度(cm)	
		平均 28.6 cm	平均 25.2 cm	平均 26.7 cm	平均 25.2 cm	平均 31.3 cm	平均 25.7 cm	平均 26.8 cm	平均 27.4 cm	平均32.9cm	平均27.5cm	平均27.8cm			
三河湾沿岸域 (知多半島等)	森づくり	水原圃養林育成事業	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha)										整備面積 (ha)	
		植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。		0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	－	－	－	－	

【目標】
☆湖畔の散歩道において不快に感じなく、水辺で湖底が見られる。
☆湖内全域で魚が生息できる。
☆川の辺りを眺めたり散策が楽しい

<湖内>
○魚、鳥、カエルなど、いろいろな種類の生き物がたくさんいる。
○透明度30cm以上、透明度1m以上
<流入河川>
○魚の姿がたくさん見える。
○臭いや、濁りや色が気にならない。

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績										
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
<div>【課題】 ○単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれるおいを感じる事ができる川づくりが必要となっている。</div> <div>○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。</div> <div>○生活排水対策とともに、</div> <div>【目標】 ☆水辺を散歩したい川 ☆生き物をほぐむため池を守る</div> <div>○水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川 ○利水・治水を始め多面的機能を有するため池の保全</div>	郷づくり	湿地・灌原の保全	阿久比町	保全回数(回)										保全回数(回)
		・ 湿地特有の生物や植物が生息・生育する場所の保全・整備を行う。		24回	24回	24回	24回	24回	30回	30回	36回	28回	26回	24回
				参加人数(人)										参加人数(人)
	まちづくり	—	—	—	—	—	210人	210人	252人	196人	156人	144人		
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	川・里海づくり	海岸環境整備事業	衣浦港務所	整備面積(ha)										整備面積(ha)
		・ 緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。		—	—	—	・ 張芝1式 ・ 公衆便所1式 ・ 排水工1式	張芝1式	2.1ha	防護策工1式 四阿工1式	手洗い場工1式	—	—	—
		矢勝川堤防における彼岸花の植栽	半田市	実施回数(回)										実施回数(回)
		・ 矢勝川の堤防と河川敷において草刈りを行い、彼岸花の少なくなった部分に補植を行う。		4回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	23回	—	1回
				実施箇所数										実施箇所数
		1箇所		1箇所	18箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		
		107人		108人	240人	35人	35人	35人	72人	570人	690人	—	50人	
		環境学習における取組等	半田市	実施回数(回)										実施回数(回)
				4回	7回	31回	31回	1回	2回	1回	3回	3回	—	12回
				実施箇所数										実施箇所数
				5箇所	5箇所	22箇所	19箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	12箇所
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
	179人			280人	249人	176人	71人	131人	100人	199人	193人	—	1016人	
	水生生物調査	流城市町、県水大気環境課 (※報告機関：県水大気環境課)	実施箇所数										実施箇所数	
			8箇所	4箇所	4箇所	4箇所	5箇所	4箇所	3箇所	5箇所	10箇所	7箇所	7箇所	
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
	水質浄化セラミックによる河川の水質浄化【2019終了】	南知多町	・ 水質浄化に効果があるとされる水質浄化セラミックを設置し、水質浄化を図る。	—	—	—	—	122人	120人	54人	74人	80人	81人	249人
								実施箇所数						
			—	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—	—	—	—	—		
			延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	
	—	24人	24人	24人	24人	—	—	—	—					